

平成29年度事業報告

社会福祉法人 ロザリオの聖母会
共同生活援助事業所
ナザレの家あさひ

1 概括

今年度は、まず建物の老朽化が問題になっていた仲町ハウスについて、新しく物件を借りることが出来たため、引っ越しを行った。それにより、仲町ハウスを廃止し、新規に川間ハウスを開設、その際に定員も減らしたため総数が90名となった。

次に工事関係では、今年度中が設置義務期限となっていたスプリンクラーの設置工事について、矢指ハウス、東足洗ハウス、萩園ハウスの3箇所に設置し、対象ホームについては全て整備することが出来た。ただ、利用者の安全を考えた時には、設置が必要ないホームでもあった方が安心なため、今後も必要に応じて整備を検討していきたい。また、若衆内ハウスの屋根外壁等修繕工事も行った。こちらに関しては無事に終わることが出来たが、その際に浄化槽に関しても交換移設工事が必要な事がわかったため、来年度に計画していきたい。

その他のこととしては、やはり人材不足に悩まされた1年であった。この課題は、社会全体の問題であると共に、今後は益々厳しくなっていくことが予測されるため、法人全体や他事業所とも情報共有しながら検討していきたい。

2 施設（事業所）所在地 千葉県旭市野中4017

3 施設（事業所）開設年月日 平成18年10月1日

4 沿革

1996年（平成8年）	4月	1日	福祉ホーム野中ハイツ開設	定員10名
1997年（平成9年）	1月	23日	若衆内ハウス開設	定員15名
2003年（平成15年）	4月	1日	横大道ハウス開設	定員21名
2004年（平成16年）	10月	1日	中川ハウス開設	定員25名
2004年（平成16年）	11月	1日	萩園ハウス開設	定員29名
2005年（平成17年）	5月	1日	東足洗ハウス開設	定員34名
2005年（平成17年）	9月	1日	立野ハウス開設	定員38名
2006年（平成18年）	4月	1日	グループホーム支援室開設	
2006年（平成18年）	10月	1日	ケアホーム旭・グループホーム旭事業所指定 共同生活介護・共同生活援助事業開始 野中ハイツ 福祉ホームからグループホーム に変更 東町ハウス開設	定員44名
2007年（平成19年）	4月	1日	大割ハウス開設	定員49名
2007年（平成19年）	7月	1日	グループホーム支援センター開設 荒井 隆一が所長となる	
2007年（平成19年）	8月	1日	対馬ハウス開設	定員53名
2008年（平成20年）	3月	1日	下立ハウス開設	定員58名
2008年（平成20年）	7月	1日	東町ハウス転居	広原ハウスに改名
2009年（平成21年）	4月	1日	野中ハイツ定員10名から、野中ハイツⅠ定員 5名・野中ハイツⅡ定員5名に変更。	
2009年（平成21年）	9月	1日	生沼ハウス開設	定員61名

2011年(平成23年)	6月 1日	矢指ハウス開設 定員65名 震災に伴い立野ハウス転居(廃止) 西足洗ハウス開設
2012年(平成24年)	1月 1日	小割ハウス開設 定員67名
2012年(平成24年)	2月 1日	仲町ハウス開設 定員72名
2012年(平成24年)	5月 7日	下立ハウス 震災による修繕工事完了
2012年(平成24年)	6月 7日	野中ハイツ 震災による修繕工事完了
2012年(平成24年)	11月 5日	若衆内ハウス 世話人室・喫煙室増設
2014年(平成26年)	3月27日	中川ハウス・対馬ハウス・東足洗ハウス・ 菘園ハウス 自動火災報知設備設置
2014年(平成26年)	3月31日	下立ハウス スプリンクラー設備整備
2014年(平成26年)	4月 1日	折戸ハウスⅠ開設 定員77名
2014年(平成26年)	4月 1日	折戸ハウスⅡ開設 定員82名
2014年(平成26年)	7月16日	横大道ハウス定員6名から定員7名に変更 定員83名
2015年(平成27年)	2月 1日	横大道ハウス定員7名から定員6名に変更 定員82名
2015年(平成27年)	2月 1日	折戸ハウスⅠ定員5名から定員6名に変更 定員83名
2016年(平成28年)	7月 1日	仲才ハウス開設 定員92名
2017年(平成29年)	3月31日	横大道ハウス・中川ハウス・対馬ハウス スプリンクラー設備整備
2017年(平成29年)	5月 1日	仲町ハウス廃止 川間ハウス開設 定員90名
2018年(平成30年)	2月22日	菘園ハウス・東足洗ハウス・矢指ハウス スプリンクラー設備整備

5 実施事業及び利用者数

5-1 障害者総合支援法による指定事業

(1) 共同生活援助事業(介護サービス包括型)

(定員90名、平成30年3月31日現在の利用者数：87人)

- ア 野中ハイツⅠ(定員男性5人、平成30年3月31日現在の利用者数：5人)
千葉県旭市野中3622-2
- イ 野中ハイツⅡ(定員女性5人、平成30年3月31日現在の利用者数：4人)
千葉県旭市野中3622-2
- ウ 若衆内ハウス(定員男性5人、平成30年3月31日現在の利用者数：5人)
千葉県旭市ニ3500-11
- エ 横大道ハウス(定員男性6人、平成30年3月31日現在の利用者数：6人)
千葉県旭市三川横大道7542-2
- オ 中川ハウス(定員男性4人、平成30年3月31日現在の利用者数：4人)
千葉県野中4070-2
- カ 菘園ハウス(定員女性4人、平成30年3月31日現在の利用者数：4人)
千葉県旭市菘園1250-4
- キ 東足洗ハウス(定員男性5人、平成30年3月31日現在の利用者数：5人)
千葉県旭市東足洗2277-1
- ク 西足洗ハウス(定員男性4人、平成30年3月31日現在の利用者数：3人)
千葉県旭市西足洗562-56

- ケ 広原ハウス（定員男性6人、平成30年3月31日現在の利用者数：6人）
千葉県旭市野中4075-4
- コ 大割ハウス（定員女性5人、平成30年3月31日現在の利用者数：5人）
千葉県旭市野中3811
- サ 対馬ハウス（定員4人、平成30年3月31日現在の利用者数：4人）
千葉県旭市野中4070-2
- シ 下立ハウス（定員男性5人、平成30年3月31日現在の利用者数：5人）
千葉県旭市野中3625-1
- ス 生沼ハウス（定員女性3人、平成30年3月31日現在の利用者数：3人）
千葉県旭市イ1694-8
- セ 矢指ハウス（定員4人、平成30年3月31日現在の利用者数：4人）
千葉県旭市野中3811-2
- ソ 小割ハウス（定員男性2人、平成30年3月31日現在の利用者数：1人）
千葉県旭市野中3850-6
- タ 川間ハウス（定員男性3人、平成30年3月31日現在の利用者数：3人）
千葉県旭市萩園1889
- チ 折戸ハウスⅠ（定員6人、平成30年3月31日現在の利用者数：6人）
千葉県旭市野中3985-4
- ツ 折戸ハウスⅡ（定員5人、平成30年3月31日現在の利用者数：5人）
千葉県旭市野中3985-4
- テ 仲才ハウス（定員9名、平成30年3月31日現在の利用者数：9人）
千葉県旭市二2491-1

6 職員構成

別紙1のとおり（平成30年3月31日現在の職員数）
（平成29年3月31日現在の職員数）

7 組織図

別紙2のとおり（平成30年3月31日現在の組織図）
（平成29年3月31日現在の組織図）

8 29年度重点目標実施報告

8-1 福祉・医療の情勢や動向を注視しつつ施設・事業所の安定的運営に努めるについて

ア) 制度改正など諸情勢を踏まえた施設・事業所の課題と展望について

来年度からの報酬改定に関しては、基本報酬も切り下げられるなど、厳しい結果となった。期待していた新たな累計に関してもうまく活用できそうにないため、現行の中でのやりくりを再度検討していきたい。ただ、そのような中でも来年度から新たに常勤職員を3名増やせたことと、内の1名に関しては看護職員を配置できたことは大きいと言える。今後の利用者の高齢化や重度化への対応を考えて、引き続き組織体制の充実を図っていきたい。

イ) 人材の確保、定着、育成の推進

ここ数年、慢性的な人材確保の難しさが続いているが、この1年はより厳しい状況であっ

た。ただ、来年度は新卒採用も含めて3名の常勤職員が増員となるため、育成と定着に努めていきたい。また、中間管理職もようやく副主任を置くことが出来たため、事業所内の業務整理を行いたい。

ウ) 福祉サービスの一層の充実を目指した施設整備の改善・拡充について

建物の老朽化対策として、若衆内ハウスの屋根外壁等改修工事を計画通り行った。

消防設備整備においては消防法令改正に伴う整備として、昨年度に引き続き、千葉県障害者グループホーム整備費補助事業による補助を受け、スプリンクラー設備（パッケージ型自動消火設備）を萩園ハウス、東足洗ハウス、矢指ハウスに整備することができた。また、火災通報装置及び自動火災報知設備整備を、川間ハウスと横大道ハウスに行い、昨年度から持ち越しになっていた萩園ハウス他4カ所における既設火災通報装置の連動型への切り替え工事も完了した。

次に職員の身体負担を軽減することを目的に、移動用の介護リフトを矢指ハウスの居室に導入した。

建物や設備の老朽化対策、職員の身体に係る負担軽減対策については、今後も検討、計画をしていく。同時に利用者の個々の特性などに対応するための生活環境の見直しを随時行っていきたいと考えている。

エ) 堅確な財務規律と内部管理体制の確立について

社会福祉法改正に伴う財務規律の強化や事業運営の透明性を高めるため、法人本部をはじめ関係施設、事業所との情報交換を密に行い、適正且つ円滑な会計処理等を行うよう心掛けた。次年度は報酬改定なども行われるため、無理、無駄を省き、正確かつ健全で安定した運営が行えるよう、予算管理の体制強化、資金の確保などに努めていきたい。

オ) 新規グループホームの開設について

建物の老朽化の為、仲町ハウスを廃止、川間ハウスを新規開設し引っ越しを行った。利用者さん達も初めは環境の変化等、慣れるまでには時間がかかったが、数ヶ月で周りの環境にも適応できているように感じる。

8-2 社会福祉法人に求められる課題を踏まえつつ利用者等のサービスの質向上に努めることについて

ア) 地域医療・福祉への取り組みについて

平成29年度予定されていた聖家族園1名、海上療養所1名、在宅2名の利用者が新たに入居している。

触法障害者への支援については関係機関と協力し、その時の状況に合わせて、ケース会議で情報を共有し、役割を確認し対応を行っている。

医療的ケアや終末期の対応については、今後の高齢化を想定して、喀痰吸引研修や地域包括ケアを学ぶ研修に職員を参加させ準備を進めている。

地域福祉を進める中で、「障害のある人が誰もがありのままにその人らしく」生活していくために、地域住民とのつながりを大切にし、地域行事への参加や消防団の活動に参加し、地域の一員としての役割に積極的に取り組み、地域に貢献するように努めた。開かれた事業所として、夕涼み会やもちつきの開催時には、地域住民や関係機関へ声を掛け多数の方に参加をして頂けた。

イ) 権利擁護、虐待防止、差別解消に向けた取り組みについて

虐待防止委員会を継続的に運営し、ヒヤリハットや事故報告書の内容を確認し、再発の防止に努めた。世話人会議において、虐待防止法のパンフレットを教材に虐待に当たる対象行為の内容について確認をした。また、袖ヶ浦・養育園の虐待事件の記事を読み直し、風通しの良い職場環境づくりや虐待を発見した時の通報義務について確認を行った。グループホームの自己点検リストを活用し、グループホーム職員としてふさわしい支援の確認をした。

ウ) 利用者の立場に立った福祉サービスの実施について

利用者主体の暮らしが行えるように、世話人会議で事業所としての方向性を確認する場をもっている。利用者の意向を丁寧に聴き取る事は出来てきている。日中活動の過ごし方については、ケース会議等を開催しながら、必要に応じて変更を行っている。

意思決定支援については、意思決定支援のガイドラインを活用した研修の機会を設ける予定であったが、行えていないため来年度の世話人会議で取り入れていく必要がある。

苦情解決制度活用については、世話人会議等で周知を行った。

エ) 自己評価、第三者評価結果に基づく業務改善について

福祉サービス共通基準の評価において、評価及び総合評価は全てAであるが、喫食環境の項目でB評価をつける職員が多く、食事を楽しくおいしく食べられる雰囲気作りに課題が残った。職員行動規範においては、例年同様に「利用者の入浴、衣服の着脱、排泄、生理等は同性介助を原則とする。」となっているが、男性職員の割合が低く、男性職員の採用も行なったが、定着しなかった。引き続き来年度の課題となっている。

オ) サービス提供上必要な事項の全体的点検と基本的事項の順守について

事故・急病時の対応マニュアルを周知しているが、対応力を向上させる訓練は全体では行えていない。

業務において法令遵守すべきことについては職員と世話人会議において確認を行っている。

カ) 研修体制及び内容の充実について

内部研修（OJT）に関しては、毎月世話人会議で研修を行った。外部研修（OFFJT）の機会については、勤務調整を行うなどして、年間12回程度の研修に参加をしている。

キ) 地域のニーズに合わせたサービスの展開を図るについて

今年度も聖家族園や海上寮、在宅などから、それぞれ受け入れを行うことが出来た。新規開設に関してはしばらく考えていないが、ひとり暮らしや別の暮らしの場所への支援を見直す事と、それに伴い新たに空きができた時に対しての新規利用支援と言うような現在の定員数内での循環のあり方を考えていきたい。

8-3 法人の総合的な安全衛生対策の向上について

ア) 法人全体の防災・防犯対策の向上と交通事故防止対策について

年2回の防災訓練と法人合同防災訓練を実施した。避難訓練の際には、ターポリン担架の使用、火災報知器を実際に鳴らす等して、実践的な訓練になるように心がけた。

セコムとは契約継続をしており、防犯シールを貼り防犯対策をしている。消防設備の点検については、防災設備会社と契約し年2回の点検を行った。

火災対策として、萩園ハウス・東足洗ハウス・矢指ハウスにスプリンクラーを設置、川間ハウス・横大道ハウスに火災通報装置・自動火災報知設備を設置した。

イ) 利用者等安全対策の向上について

職員、利用者の負担軽減を目的として、矢指ハウスの一室に移動用リフトの導入を行った。

また、若衆内ハウス及び大割ハウスの入口について車椅子を使用している方でも利用できるよう改装した。

ウ) 職員メンタルヘルスとハラスメント対策の向上について

職員が孤立化しやすい環境であり、精神状態に不安を感じる職員へは産業医への相談先があることを周知した。仕事の問題を抱え込む事がないように、関係機関と相談が出来る体制は作れているため、継続性をもたせられるように来年度も努めて行く必要性がある。

エ) 安全運転対策の向上について

春と秋の全国交通安全週間期間中に旗を設置、6月の交通安全講習の実施、世話人会議等にて安全運転への注意喚起を年間通して行った。

年間を通して8件の車両事故があった。対人についての事故はなかったが、日常的に車を使用するの支援が多いため、日頃から注意喚起を行った。

オ) IT・情報管理対策の向上について

ウイルス等の感染対策として、覚えのないアドレスからのメールを開かず破棄するよう徹底し、USBメモリ等の使用制限を法人全体で行った。

また、利用者の個人情報外部からの人間にみられないよう、保管場所や保管方法についての確認・徹底を事業所内で行った。

9 その他の報告事項

9-1 建物に係る修繕及び工事について

(1) 若衆内ハウス屋根外壁等改修工事について

若衆内ハウスの建物について、昭和55年9月建築後37年が経過し、屋根や外壁をはじめ浴室やトイレ、居室等において経年による劣化が認められるため改修工事を計画した。

なおこの計画については、工事に係る費用が250万を超えることが見込まれたため、理事会において計画の承認と契約方法に関する諸手続きなどを審議したうえで工事を施工した。

- 29. 11. 22 第213回理事会 計画、予定価格、業者選定について
- 30. 1. 24 第214回理事会 契約について
- 30. 1. 29 契約 (栄豊建設株式会社)
- 30. 3. 31 完成

工事金額 12,960,000円 (自己資金)

当該工事の設計管理業務については、フジ設計と契約を行った。

- 29. 11. 13 契約

設計管理料 533,088円 (自己資金)

(2) 萩園ハウス・東足洗ハウス・矢指ハウススプリンクラー設置工事について

平成25年12月改正消防法施行令のスプリンクラー設備の設置基準改正に伴い、グループホームにおける消防設備設置義務基準(六項(ロ))に該当するホームでは、平成30年3月末日までにスプリンクラーを整備することが義務付けられていた。これにより、萩園ハウス、東足洗ハウス、矢指ハウスにおいて、スプリンクラー設備を整備することとした。この計画に伴う契約方法については平成29年4月施行の改正社会福祉法「社会福祉法人における入札契約等の取扱について」に基づき、入札は非該当となるところだが、工事資金について千葉県障害者グループホーム整備費補助金の補助を受けて行うことから、千葉県から「社会福祉法人の認可等の適正化並びに社会福祉法人及び社会福祉施設に対する指導監督の徹底について(H29.3.29)」に記載されている条件が適用されるとの理由により入札案件となり、理事会において計画の承認と契約方法に関する諸手続きなど審議を行い、工事を施工した。

- 29. 8. 30 第210回理事会

(萩園ハウス・東足洗ハウス、矢指ハウススプリンクラー整備工事計画について)

- 29. 9. 27 第211回理事会

(萩園ハウス・東足洗ハウス、矢指ハウススプリンクラー整備契約方法及びスケジュールの変更について)

- 29. 10. 18 第212回理事会

(入札参加業者の選定及び矢指ハウスの設置機器の仕様変更について)

- 29. 11. 15 入札

- 29. 11. 22 第213回理事会 最低制限価格の設定及び入札結果・契約について

- 29. 11. 24 契約

(落札者 萩園ハウス・東足洗ハウス・矢指ハウス 有限会社山崎防災設備)

- 30. 2. 22 設置完了(消防検査)

工事金額

萩園ハウス

2,158,000円 (平成29年度障害者グループホーム整備費補助金)

2,545,400円 (自己資金)

合計 4,703,400円

東足洗ハウス

2,908,000円 (平成29年度障害者グループホーム整備費補助金)

2,908,880円 (自己資金)

合計 5,816,880円

矢指ハウス

2, 766, 000円 (平成29年度障害者グループホーム整備費補助金)
2, 766, 840円 (自己資金)
合計 5, 532, 840円

当該工事の設計管理業務については、フジ設計と契約を行った。

29. 7. 27 契約
設計管理料 664, 632円 (自己資金)

(3) 矢指ハウス移動用リフト導入及び修繕工事について

職員の介護負担軽減等を目的として、矢指ハウスの居室に移動用リフトを導入した。また、リフト導入に伴い居室の天井部分の補強や壁等において改修を行った。

30. 1. 24 第214回理事会 計画及び契約
(移動用リフト 3者見積合せ 落札者 パラメディカル株式会社
リフト導入に伴う修繕工事 2者見積合せ 落札者 株式会社伊藤工務店)
30. 1. 26 契約 (株式会社伊藤工務店)
30. 1. 29 契約 (パラメディカル株式会社)
30. 3. 19 完了 (株式会社伊藤工務店)
30. 3. 28 設置完了 (パラメディカル株式会社)

工事金額

移動用リフト 1, 798, 200円 (パラメディカル株式会社)
486, 000円 (株式会社伊藤工務店)
合計 2, 284, 200円 (自己資金)

(4) 川間ハウス防災設備設置工事について

今年度新規開設した川間ハウスにおける防災設備として、自動火災報知設備と火災通報装置の設置を行った。

29. 4. 3 決裁
29. 4. 4 契約 (有限会社山崎防災設備)
29. 4. 11 完了 (消防検査)

工事金額 540, 000円 (自己資金)

(5) 横大道ハウス防災設備設置工事について

改正消防法令に従い、今年度の防災に係る設備整備として計画した、横大道ハウスの自動火災報知設備と火災通報装置の設置を計画通りに行った。

29. 9. 21 決裁
29. 9. 22 契約 (有限会社山崎防災設備)
29. 10. 13 完了 (消防検査)

工事金額 583, 200円 (自己資金)

10 1年のあゆみ

- 29. 4. 1 いちご狩り
- 4. 3 辞令交付式
- 6. 3 安全運転講習会
- 6. 15～16 全ホーム防災訓練
- 7. 17 夕涼み会
- 7. 22～23 第14回日本グループホーム学会・仙台大会
- 8. 27 ミュージックフェスティバル
- 9. 6 合同防災訓練
- 9. 20～22 国サービス管理責任者研修
- 9. 24 第27回ロザリオ福祉まつり
- 10. 2～10. 19 城西国際大学実習生2名（2週間）受け入れ
- 10. 4 創立記念行事
- 10. 10～11 矢指ハウス一泊旅行（静岡県堂ヶ島）
- 10. 23～24 大割ハウス一泊旅行（福島県）
- 10. 30～11. 15 城西国際大学実習生2名（2週間）受け入れ
- 11. 9～10 野中ハイツI一泊旅行（日光）
- 11. 15～17 敬愛大学横芝高等学校実習生1名（3日間）受け入れ
- 11. 16 千葉県監査
- 12. 8 川間ハウス日帰り旅行（養老溪谷）
- 12. 9 障害者週間行事
- 12. 9 千葉県障害者グループホーム大会
- 12. 19～20 県サービス管理責任者研修
- 12. 23 もちつき大会
- 30. 1. 4 新年あいさつ会
- 1. 10 サービス管理責任者フォローアップ研修（知的分野）
- 1. 30 サービス管理責任者フォローアップ研修（精神分野）
- 3. 3 合同研修会
- 3. 13～16 全ホーム防災訓練
- 3. 26～29 美作大学実習生5名（4日間）受け入れ

Ⅱ 利用者の概要

1 ナザレの家あさひ

1-1 利用者の平均年齢

56.5歳

1-2 日中活動の状況

就労 2人、生活介護施設 20人、就労継続B型施設 19人

高齢者デイサービス 3人、その他 43人

移動支援 17人、行動援護 2人、重度訪問介護 3人、身体介護 2人

*重複あり

1-3 出身地の状況

旭市 26人、市原市 1人、香取市 2人、匝瑳市 6人、山武市 3人
千葉市 4人、銚子市 16人、東金市 1人、東庄町 2人、成田市 1人
船橋市 3人、四街道市 1人

東京都（江東区 3人、渋谷区 1人、台東区 1人、江戸川区 1人
中央区 1人、板橋区 1人、八王子区 1人、目黒区 1人）

茨城県 1人、横芝光町 2人、習志野市 1人

茂原市 3人、勝浦市 1人、市川市 1人、多古町 1人、埼玉県 1人

計 28区市町

1-4 障害支援区分

非該当 3人、区分1 1人、区分2 19人、区分3 25人

区分4 17人、区分5 11人、区分6 11人

平均障害程度区分 3.48

1-5 入退去の状況

入居 4名

病院より 2名

施設より 1名

在宅より 1名

退去 1名

病院 1名

2 ホーム別概要

2-1 野中ハイツI

(1) 利用者の年齢

45歳 1人、65歳 1人、66歳 1人、67歳 1人、58歳 1人

平均年齢 60.2歳

(2) 日中活動の状況

就労継続B型施設 1人、その他4人

- (3) 出身地の状況
旭市 2人、銚子市 2人、匝瑳市 1人
 - (4) 障害支援区分
区分4 1人 区分2 1人、区分3 3人
- 2-2 野中ハイツⅡ
- (1) 利用者の年齢
53歳 1人、60歳 2人、62歳 1人
平均年齢 58.7歳
 - (2) 日中活動の状況
就労B型就労施設 1人 その他 3人
 - (3) 出身地の状況
旭市 2人、銚子市 1人、匝瑳市 1人
 - (4) 障害支援区分
区分2 1人、区分3 3人
- 2-3 若衆内ハウス
- (1) 利用者の年齢
31歳 1人、43歳 1人、68歳 2人、67歳 1人
平均年齢 55.4歳
 - (2) 日中活動の状況
その他 3人、就労継続B型施設 2人
 - (3) 出身地の状況
旭市 1人、東庄町 1人、茂原市 1人、銚子市 1人、東京都 1人
 - (4) 障害支援区分
非該当 1人、 区分2 1人、区分 3 3人
- 2-4 横大道ハウス
- (1) 利用者の年齢
38歳 1人、46歳 1人、51歳 1人、55歳 1人、59歳 1人
62歳 1人
平均年齢 51.8歳
 - (2) 日中活動の状況
就労継続B型施設 3人、生活介護施設 3人
 - (3) 出身地の状況
旭市 4人、銚子市 2人
 - (4) 障害支援区分
区分4 4人、区分5 2人

- 2-5 中川ハウス
- (1) 利用者の年齢
41歳 1人、47歳 1人、61歳 1人、67歳 1人
平均年齢 54歳
- (2) 日中活動の状況
生活介護施設 3人、その他 1人
- (3) 出身地の状況
香取市 1人、匝瑳市 1人、山武市 1人、船橋市 1人
- (4) 障害支援区分
区分5 2人、区分6 2人
- 2-6 萩園ハウス
- (1) 利用者の年齢
41歳 1人、42歳 1人、52歳 1人、70歳 1人
平均年齢 51.2歳
- (2) 日中活動の状況
就労 1人、生活介護施設 2人、高齢者デイサービス 1人
- (3) 出身地の状況
旭市 1人、千葉市 1人、銚子市 1人、四街道市 1人
- (4) 障害支援区分
区分4 3人、区分5 1人
- 2-7 東足洗ハウス
- (1) 利用者の年齢
42歳 1人、56歳 1人、65歳 1人、72歳 1人、40歳 1人
平均年齢 55歳
- (2) 日中活動の状況
生活介護施設 5人
- (3) 出身地の状況
匝瑳市 1人、千葉市 1人、銚子市 1人、東金市 1人、旭市 1人
- (4) 障害支援区分
区分5 3人、区分6 2人
- 2-8 西足洗ハウス
- (1) 利用者の年齢
59歳 2人、78歳 1人
平均年齢 65.3歳
- (2) 日中活動の状況
その他 3人

(3) 出身地の状況
山武市 1人、銚子市 1人、船橋市 1人

(4) 障害支援区分
区分2 1人、区分3 2人

2-9 広原ハウス

(1) 利用者の年齢
41歳 1人、64歳 1人、66歳 1人、69歳 1人
70歳 1人、73歳、1人
平均年齢 63.8歳

(2) 日中活動の状況
生活介護 1人、高齢者デイサービス 1人、その他 4人

(3) 出身地の状況
旭市 1人、銚子市 2人、市原市 1人、習志野市 1人、船橋市 1人

(4) 障害支援区分
区分3 3人、区分4 2人 区分6 1人

2-10 大割ハウス

(1) 利用者の年齢
46歳 1人、66歳 1人、78歳 1人、81歳 1人、89歳 1人
平均年齢 72歳

(2) 日中活動の状況
就労継続B型施設 1人、その他 4人

(3) 出身地の状況
旭市 1人、東京都 3人、茨城県 1人

(4) 障害支援区分
非該当 1人、区分2 1人、区分3 2人、区分4 1人

2-11 対馬ハウス

(1) 利用者の年齢
27歳 1人、56歳 1人、65歳 1人、81歳 1人
平均年齢 57.2歳

(2) 日中活動の状況
生活介護施設 3人、高齢者デイサービス 1人

(3) 出身地の状況
旭市 3人、埼玉県 1人

(4) 障害支援区分
区分5 1人、区分6 2人、区分4 1人

2-12 下立ハウス

- (1) 利用者の年齢
47歳 1人、59歳 1人、69歳 1人、87歳 1人、50歳 1人
平均年齢 62.4歳
- (2) 日中活動の状況
就労継続B型施設 1人、その他 4人
- (3) 出身地の状況
銚子市 1人、香取市 1人、千葉市 1人、匝瑳市 1人
横芝光町 1人
- (4) 障害支援区分
区分3 3人、区分4 1人、区分6 1人

2-13 生沼ハウス

- (1) 利用者の年齢
67歳 1人、20歳 1人、52歳 1人
平均年齢 46.3歳
- (2) 日中活動の状況
就労継続B型施設 1人、その他 2人
- (3) 出身地の状況
旭市 3人
- (4) 障害支援区分
区分2 1人 区分4 1人 区分3 1人

2-14 矢指ハウス

- (1) 利用者の年齢
44歳 1人、53歳 1人、58歳 1人、67歳 1人
平均年齢 55.5歳
- (2) 日中活動の状況
就労継続B型 1人、生活介護施設 1人、その他 2人
- (3) 出身地の状況
旭市 2人、銚子市 1人、茂原市 1人
- (4) 障害支援区分
区分4 1人、区分6 3人

2-15 小割ハウス

- (1) 利用者の年齢
31歳 1人
平均年齢 31.0歳

(2) 日中活動の状況
就労継続B型(週1日午前中のみ) 1人

(3) 出身地の状況
銚子市 1人

(4) 障害支援区分
区分5 1人

2-16 川間ハウス

(1) 利用者の年齢
60歳 1人、69歳 1人、72歳 1人
平均年齢 70.3歳

(2) 日中活動の状況
その他 3人

(3) 出身地の状況
勝浦市 1人、市川市 1人、東京都 1人

(4) 障害支援区分
区分2 2人、区分3 1人

2-17 折戸ハウスI

(1) 利用者の年齢
50歳 1人、51歳 1人、60歳 2人、68歳 1人、72歳 1人
平均年齢 60.1歳

(2) 日中活動の状況
就労継続B型施設 2人、その他 4人

(3) 出身地の状況
多古町 1人、東京都 2人、千葉市 1人、銚子市 1人、茂原市 1人

(4) 障害支援区分
区分1 1人 区分2 3人 区分3 1人 非該当 1人

2-18 折戸ハウスII

(1) 利用者の年齢
31歳 1人、45歳 1人、61歳 1人、67歳 1人
平均年齢 48.6歳

(2) 日中活動の状況
就労継続B型施設 4人、その他 1人

(3) 出身地の状況
旭市 3人、匝瑳市 1人、山武市 1人

- (4) 障害支援区分
区分2 2人、区分3 2人、区分4 1人

2-19 仲才ハウス

- (1) 利用者年齢
24歳 1人、32歳 1人、61歳 2人、67歳 1人、69歳 1人
74歳 1人、75歳 1人、40歳 1人
平均年齢55.8

- (2) 日中活動の状況
就労継続B型施設 1人、生活介護 2人、就労 1人、その他 5人

- (3) 出勤地の状況
東京都 3人、横芝光町 1人、銚子市 1人、旭市 2人、東庄町 1人
成田市 1人

- (4) 障害支援区分
区分5 1人、区分3 1人、区分2 6人、区分4 1人

Ⅲ 支援の概要

1 日課等

利用者個々の状況に合わせて、以下の支援の提供を関係者と協力しながら行った。

- (1) 利用者に対する相談
- (2) 食事の提供
- (3) 健康管理・金銭管理の援助
- (4) 余暇活動の支援
- (5) 緊急時の対応
- (6) 職場等との連絡・調整
- (7) 財産管理等の日常生活に必要な援助
- (8) 食事や入浴、排せつ等の介護等
- (9) 体験利用

2 部門別報告

2-1 管理者・サービス管理責任者

大規模事業所として、様々な対応を迅速に判断する必要があり、中間管理職の配置をめざしていたが配置には至らなかった。また、マンパワーの確保については、前年度より職員数4名減のため、業務の効率化も行ったが、職員の精神面・身体面の負担は増える傾向があり、そのフォローに労力を使う機会が多かった。

相談支援事業者と連携し、計画相談で作成されたサービス等利用計画と連動して、個別支援計画を作成するように努めた。

重症心身障害者、医療的ケアの必要な障害者、触法障害者の対応を継続して、関係機関と協力し、多職種チームアプローチで行っている。

2-2 世話人・生活支援員

関係機関との連携を密にし、個別支援計画を基に利用者への支援方法を統一して支援を行うように努めた。ケース会議には世話人・生活支援員にも参加を呼びかけ、支援方法の共有や課題の解決策を検討した。法人外研修については、昨年度よりも

多くの人が研修に参加することが出来た。来年度も引き続き勤務調整をするなどして参加の機会を作り、支援の質を高めたい。

安全対策においては、夜間想定津波避難訓練を実施し、最悪の状態利用者・世話人が安全に避難できる方法を検討した。

常に利用者のニーズを把握するように支援を行った。個人記録等を通してサービス管理責任者へ利用者の生活状況や個別支援計画の実施状況等を報告するように努めた。

医療的ケアに対応するため、対象となるホームの世話人は喀痰吸引研修の受講を修了できた。

2-3 事務員

服装や言葉使いなど基本的な接遇について、必要に応じて確認や助言などを行うとともに、法人内事務研修において、パソコンや規則等の基礎知識を学んだ。しかし、外部の研修や事業に必要な研修へ1度しか参加できなかったため、スケジュールの調整も含め、積極的に参加できるよう心掛けていく。

利用者の金銭管理サービス提供希望者は年々増えており、今年度は50名を超え、金銭管理業務に含まれる銀行との取引もかなり増加している。そのため昨年度から専任の職員を配置し、円滑且つ正確な金銭管理が行えるよう努めているところだが、煩雑な手続きも認められるため、ネットバンキング等の導入など関係機関等と相談しながらより円滑に業務が行えるよう考えていきたい。

建物や設備等の老朽化や生活環境の整備においては、若衆内ハウスの屋根外壁及び浴室等の改修工事を行い、職員の身体への負担軽減対策として、矢指ハウスに移動用介護リフトの導入を実施した。

防災関係では、改正消防法令に伴い新規開設した川間ハウスと六項（ロ）に該当する横大道ハウスに自動火災報知設備・火災通報装置設備を整備した。また、同様の設備について、既に設置完了しているが、通報システムが連動式ではなかったホームについても、万が一の際には自動で消防署へ火災通報が行われるようにシステムの切替工事を完了させた。

さらに、昨年度に引き続き、スプリンクラー設備の設置義務基準要件に伴い、千葉県障害者グループホーム整備費補助金（スプリンクラー設備整備）を受け、萩園ハウス、東足洗ハウス、矢指ハウスに、パッケージ型のスプリンクラー設備を整備した。

次年度以降は、社会福祉法人の制度改革に加え、事業の報酬改定も行われるため、職員の労務管理、経理処理、その他庶務において、健全かつ安定した運営が行えるよう、事務職員間での報告、連絡、相談の徹底に努め、迅速かつ正確な業務の遂行に努めていきたい。

2-4 野中ハイツ I

高齢者の割合が増えてきており、訪問看護ステーション・ソフィアとの医療連携体制や旭中央病院の訪問看護を利用し、病状の変化に対応できる体制を整えた。

月に一度利用者とのミーティングを行い、利用者が行きたい場所を決め、夕食や外出する機会を全員が楽しみにしている。また、毎週水曜日の買い物（食品 日用品）や一泊旅行も継続して行った。

2-5 野中ハイツ II

一人一人個性があり、グループホームでのトラブルも多いが、一つ一つ向かい合い納得できるように支援を行なった。

利用者ミーティングを継続し、利用者が考えている不安や不満のはけ口、受け皿になっている。

服薬管理の必要な利用者2名については、引き続き支援を行なっているが、自己管理には至っていない。

2-6 若衆内ハウス

建物老朽化による屋根外壁等改修工事を行った。屋根、外壁、玄関ドア、トイレ増設、階段張替えを行い、利用者が気持ちよく生活出来る住居になった。

日中活動として、ディケアや就労継続B型事業所を利用して生活している。

毎月一度の利用者ミーティングを行い、利用者の行きたい場所を決め、外食や外出する機会をもち、生活の楽しみを感じることが出来ている。

地域活動の一環として、町内会の溝掃除を地域住民と一緒に利用者と職員が行った。

2-7 横大道ハウス

町内会への参加や近隣住民への挨拶等、地域交流は継続して行った。

土日の余暇活動について、一人で買い物に出かける事が難しくなっている利用者が2名おり、移動支援のヘルパーを利用している。

利用者1名については、ほぼ毎日夕方に外出をされており、本人には事故等がないよう注意喚起を行い見守った。

防災設備工事として自動火災報知設備と火災通報装置の設置を行なった。

2-8 中川ハウス

重度の知的障害者を持たれた方が入居しており、複数の支援者や事業者が関わっているため、毎日のミーティングや日中活動先との連絡会において情報共有し、支援を行った。

加齢により転倒を繰り返す利用者があり、転倒を減らす方法を考える一年であった。行動障害のある利用者の義歯が壊れてしまい、佐原県立病院の特殊歯科や関係機関と連携し、治療する事が出来た。

2-9 萩園ハウス

週末は移動支援のヘルパーを活用し、プール教室や買い物、散歩など個別の関わりを大切にしている。これまで築いてきた地域との信頼関係を大切にし、地域のイベントにも積極的に参加した。

食材宅配サービスだけではなく、状況によっては利用者の希望に合わせた献立を提供することができた。

複数の世話人が交替で支援をしている為、月1回のミーティングを行い支援の確認を行った。

ハウスの老朽化の為、修繕を行なった。防災設備工事としてスプリンクラーの整備を行った。

来年度は高齢の利用者もいる為、バランスの良い食事や運動を心がけていきたい。

2-10 東足洗ハウス

聖家族園より10月に、1名の利用者が入居した。

現在、5名の利用者全員が他法人の生活介護事業所を利用しており、密に連絡をとりあいながら支援を行った。

利用者の希望で、商工会主催のイルミネーションを見に行く事が出来た。

日々のバイタルチェックや、医療機関や日中活動先と連携して、日々の健康状態の確認を継続して行った。

今年度も地域のイベントへの参加等、地域との交流は継続して行っており、来年度も継続して支援していきたい。

防災設備工事としてスプリンクラーの整備を行った。

2-1-1 西足洗ハウス

近隣住民との関係は利用者自身で挨拶や日常的な会話を積極的に行っており、良好である。利用者1名の希望により11月より事業所内他ホームへ転居し、現在は3名の利用者の利用となっている。

対人面での課題もあり、状況を確認し本人と解決をしている。月1回の食事会・外出を継続して行った。

今年度はハウス内の旅行の実施ができなかったが来年度は旅行へ行きたいと希望がでているため、計画していきたい。

高齢化により認知機能の低下がみられる利用者があるため、今後本人の状態に合わせた支援を注意して行っていきたい。また、階段の多い住居の為、転倒・転落防止に継続的に努めていきたい。

2-1-2 広原ハウス

利用者一名が関係機関と連携して支援を行っていたが、精神状態が安定せず、他利用者への他害行為を行ってしまい医療保護入院となってしまった事があった。退院後は支援体制の見直しを行い、関係機関との連携しながら支援にあたった。

利用者の希望で東京へ日帰り旅行をした。ハウス内で月一回食事外出や季節に応じた外出を行った。来年度も継続して外出や旅行等の企画を実施していきたい。

2-1-3 大割ハウス

今年度も計画通り、福島県に一泊で旅行へ行く事ができた。月1回の食事会も継続して行った。高齢化により今までは本人のみで行っていた事も、職員が介入し一つ一つ確認しながら行った。事業所内で最高齢の利用者もいるが、日中活動も含め、楽しい生活が送れるよう支援していきたい。

2-1-4 対馬ハウス

日中活動先・通院先が利用者ごとに複数あり、連絡調整について不備がないように支援を行った。利用者の些細な変化に注意し、その対応方法を関係機関と連携して調整対応した。身体障害のある利用者のADLが著しく低下傾向のため転倒防止に注意をしていきたい。

2-1-5 下立ハウス

措置入院となっていた利用者一名は退院後、様々な問題を解決するために事業所内の他ホームへ転居した。

海上寮療養所から退院した一名が新たに入居し、関係機関と連携して対応を継続している。

利用者二名の血圧が高く、毎日の血圧測定、定期的な内科受診を行なっている。月一回の食事会、平日の買い物支援等、利用者が外出する機会を継続して行なった。

2-16 生沼ハウス

3名定員の女性のグループホーム。街中にあるグループホームということを生かしてデパートやコンビニなどへ買い物に行くなどして生活している。
今年度より50代の利用者1名が新たに入居となった。

2-17 矢指ハウス

利用者・介助者の負担軽減の為、居室の一室に移動用リフトの設置を行った。利用者の年齢の変化により、身体能力や認知機能の低下がみられており、利用者の状態に合わせた支援を行っていきけるよう、支援者同士、関係機関と連携して支援を行った。
火災対策として、防災設備のスプリンクラーを整備した。

2-18 小割ハウス

週1回午前中に就労継続支援B型事業所へ通っているが、目的意識の希薄化により、通所できなくなってしまう事があった。日中活動先へ通う目的の再設定を行う事により、現在は毎週通えるようになっている。
ハウス内では精神的には安定しつつあるが、生活リズムの安定には至っていない。また、外出時等には、予定外の事象で精神的に不安定になってしまう為、毎月の外出については2人体制での支援を継続している。
毎月のケース会議を主治医・家族・関係機関と行い、情報共有と対応方法の確認を行った。

2-19 川間ハウス

ハウスの老朽化に伴い、5月に移転した。利用者3名での生活が一年たち、新しい地域にも馴染めてきている。近隣の病院やお店を利用している。利用者の日中活動先として海上療養所ディケアも休まず参加した。週一回の訪問看護ステーション・ソフィアの訪問看護も利用し、病状の変化に対応できる体制も整っている。月一回のミーティングで決める食事会も全員の楽しみとなっている。
防災設備工事として自動火災報知設備と火災通報装置の設置を行なった。

2-20 折戸ハウスⅠ

利用者の一人が、隣人の生活音に対して陰性感情を持ち、トラブルに発展する事があった為、本人との話し合いを行い居室の変更を行った。対人関係に関する支援が必要な利用者が多い為、今後も重点的に支援を継続して行っていきたい。
また、利用者の一名が背骨の神経圧迫により、歩行が以前に比べて困難になる事があった。今後利用者の高齢化により、心身の状態の変化が予測される為、注視していく必要がある。
関係機関との連携をとりながらの支援については、今後も継続して行っていきたい。

2-21 折戸ハウスⅡ

利用者1名が他ハウスより転居し、現在5名の利用者が生活されている。また、利用者一名が高齢化により体力低下している為、居室の移動をした。
ワンルームタイプの部屋を1人で利用するという特性上、利用者が生活上の悩みを一人で抱え込みやすくなってしまいう為、利用者とは対話する機会を増やし、本人が悩みを解決できるような環境作りを継続して行った。
利用者同士で集まるミーティングを行い、生活上で困っている事や、外出先の

検討等を自分達で考える機会を作って対応した。

2-22 仲オハウス

近隣との関係性を大切にし、防災訓練時には挨拶回りを行い、信頼関係を築くように努めた。利用者主体のミーティングや誕生会を行うことが出来た。

利用者の希望により、買い物、床屋などの付き添い支援を行なった。誕生会など2ヶ月に一回、希望食として刺し身を多く提供した。

アパートの2DK居室を二人で使用し一年が経過したが、生活も落ち着き自分なりの暮らしが出来ている。来年度も一人一人のニーズに合わせた支援を関係者共々考え、実行に努めていきたい。

ハウス担当職員と世話人との連携を図るミーティングを実施できず、訪問時に個々の世話人と話す対応のみとなってしまうため、来年度は実施していきたい。

IV 運営管理の概要

1 会議、委員会

毎月1回、下記の会議、委員会を行った。

- ・経営会議
- ・施設・事業所長会議
- ・法人グループホーム運営会議
- ・世話人会議
- ・各グループホームミーティング
- ・海上寮地域生活支援連絡会（隔週金曜日）
- ・旭中央病院連絡会
- ・地域生活支援連絡会
- ・総合安全対策委員会
- ・海匠世話人会議
- ・海匠設置者会（年2回）
- ・あい支援センター連絡会
- ・聖家族作業所連絡会
- ・その他、必要に応じて、ケース会議、調整会議を行う

2 地域との連携（交流）

2-1 行事

地域住民との連携については、野中地区の行事参加やもちつき大会において黒潮会の協力を頂くなど、交流の機会を継続的にもっている。

萩園ハウス	町内会活動（祭り・津波避難訓練・海岸清掃等）
若衆内ハウス	町内会活動（町内清掃・区民会館清掃等）
横大道ハウス	町内会活動（町内清掃等）
野中ハイツⅠ	町内会活動（町内清掃等）
野中ハイツⅡ	町内会活動（町内清掃等）
下立ハウス	町内会活動（町内清掃等）
対馬ハウス	町内会活動（町内清掃等）
大割ハウス	町内会活動（町内清掃等）
矢指ハウス	町内会活動（町内清掃等）

折戸ハウスⅠ 町内会活動（町内清掃等）
折戸ハウスⅡ 町内会活動（町内清掃等）

2-2 ボランティア

黒潮会	3名	もちつき
城西国際大学	3名	もちつき
	3名	ロザリオ福祉祭り
千葉科学大学	2名	もちつき
有志ボランティア	2名	ロザリオ福祉祭り
伊藤工務店	6名	夕涼み会

2-3 見学者

29. 5. 1 聖マリアディサービスセンター 入居希望者
5. 19 京友会病院 入居希望者
6. 5 聖路加国際病院研修医
6. 7 若葉学園 入居希望者
6. 19 聖路加国際病院研修医
6. 26 聖路加国際病院研修医
7. 10 入居希望者
7. 13 知的障害者相談員
8. 16 入居希望者
8. 21 聖路加国際病院研修医
8. 23 海上療養所 入居希望者
8. 28 聖路加国際病院研修医
9. 4 聖路加国際病院研修医
9. 11 東京大学教育学部学生
9. 11 聖路加国際病院研修医
10. 2 聖路加国際病院研修医
10. 3 香取障害者支援センター 入居希望者
10. 11 城西国際大学実習生
10. 23 聖路加国際病院研修医
10. 30 聖路加国際病院研修医
11. 6 聖路加国際病院研修医
11. 27 聖路加国際病院研修医
12. 4 聖路加国際病院研修医
12. 7 海上療養所 入居希望者
12. 11 聖路加国際病院研修医
12. 18 聖路加国際病院研修医
12. 28 京友会病院 入居希望者
30. 1. 5 入居希望者
1. 8 聖路加国際病院研修医
1. 19 国保旭中央病院 入居希望者
1. 25 入居希望者
1. 29 入居希望者
2. 5 聖路加国際病院研修医
2. 15 入居希望者
2. 19 聖路加国際病院研修医

- 3. 6 入居希望者
- 3. 8 東総就業センター 入居希望者
- 3. 9 東京都すずらんハウス職員30名

その他、相談事業所、病院関係者、グループホーム利用希望者等に対して、随時見学案内を行った。

2-4 実習生

29. 10. 2~10. 19	10. 30~11. 15	城西国際大学	2名
29. 11. 15~11. 17		横芝敬愛高等学校	1名
30. 3. 26~3. 29		岡山県美作大学	5名

3 防災、緊急時の対策

3-1 総合安全対策委員会

毎月の重点項目について、世話人会議・各ハウスミーティング等で、委員会から配布された資料を配布するなどして周知を行った。

各グループホームでの避難訓練について、世話人会議にて事前に机上訓練を行い、防災訓練後に各ハウスミーティング等にて反省を行った。

インフルエンザや車両事故等について必要に応じて各ハウスへの注意喚起を行った。

非常時緊急連絡網について、随時更新を行い、9月には連絡訓練を行った。

3-2 防災訓練・防災対策

29. 6. 15・16	全グループホーム防災訓練
29. 9. 6	合同防災訓練
29. 9. 26・28	消防設備点検
30. 3. 7・9	消防設備点検
30. 3. 13・14・15・16	全グループホーム防災訓練

4 福祉サービスの向上

福祉サービス共通基準の自己評価を全職員が実施し、結果を世話人会議にて報告した。

福祉サービス共通基準の評価においては全てA評価であったが、「喫食環境で定期的に検討を行い必要に応じて改善を図る」の項目等、利用者や職員への周知が十分でない項目がいくつかあった。

5 権利擁護

虐待防止委員会を継続的に運営し、ヒヤリハットや事故報告書の内容を確認し、再発の防止に努めた。世話人会議において、虐待防止法のパンフレットを確認し、虐待防止の意識を高めた。小遣いの管理方法を見直し、不祥事を未然に防ぐ取り組みを行った。

6 苦情解決

苦情受付・解決件数 2 件

折戸ハウスⅡ 近隣住民とのトラブルについて 1 件
世話人 社用車の使用について 1 件

7 情報公開

ホームページの開設を行い、随時更新を行った。

8 職員の動向

8-1 職員の異動

29. 4 渡辺 喜美枝退職
29. 5 宮内 美恵子退職
29. 6 野村 昂司採用
29. 8 飯島 清退職
30. 1 伊藤 慎吾採用
30. 1 野村 昂司退職
30. 2 伊藤 慎吾退職
30. 3 山中 高子退職
30. 3 大木 明美退職
30. 3 渡邊 みさ子退職

8-2 休暇等の状況

	人数	年間発生日数	取得日数	平均取得日数	取得率 (%)
常勤職員	9	159.0	75.4	8.4	47.4%
(昨年度)	(8)	(121.9)	(66.6)	(8.3)	(54.6%)
非常勤職員	31	467.0	440.5	14.2	94.3%
(昨年度)	(33)	(440.0)	(390.2)	(11.8)	(88.7%)
合計	40	626.0	515.9	12.9	82.4%
昨年度	(41)	(561.9)	(456.8)	(11.1)	(81.3%)

平成29年度は、各項目において前年度から増加がみられ、中でも非常勤職員の有給休暇取得率は前年度から5.6%増となる94.3%と、高い水準で推移する結果となった。

常勤職員については取得率が7.2%減の47.4%に留まり、ロザリオの聖母会次世代育成支援行動計画で目標としている取得率50%以上を下回る結果であったが、平成30年度から職員が増員となるため、業務負担の緩和による休暇取得率の推進にもつなげていきたい。

8-3 衛生管理

全職員を対象にO-157の保菌検査及びインフルエンザの予防接種を行った。これらのことについては次年度以降も継続して実施していきたい。

8-4 研修

- 29. 4. 21 新人・新任職員のための接遇マナー研修（前期）
 - 6. 3 交通安全講習会
 - 6. 4 平成29年度一般社団法人東総権利擁護ネットワーク勉強会
 - 6. 7～8 省令第三号・喀痰吸引等基本研修
 - 6. 20 第1回認知症多職種事例検討会
 - 7. 21 救命講習会
 - 7. 22～23 第14回日本グループホーム学会全国大会 in 仙台
 - 8. 17～18 平成29年度千葉県相談支援従事者初任者研修
 - 9. 16 第31回千葉県障害者グループホーム講座
 - 11. 1 平成29年度千葉県サービス管理責任者研修
 - 11. 28 第52回世話人の集まり
 - 12. 9 障害者週間行事
 - 12. 19～20 千葉県サービス管理責任者研修
- 30. 1. 10・30 平成29年度障害者グループホーム等従事職員研修

9 補助金

千葉県障害者グループホーム整備費補助金（スプリンクラー設備整備）

菖園ハウス	2, 158, 000円
東足洗ハウス	2, 908, 000円
矢指ハウス	2, 766, 000円
東京都共同生活援助加算（江東区）	1, 044, 740円
東京都共同生活援助加算（渋谷区）	536, 550円
東京都共同生活援助加算（目黒区）	375, 950円
障害者グループホーム運営費補助金（17市町）	10, 497, 950円

10 自立支援給付費収入額

訓練等給付費収入	189, 873, 378円
利用者負担金収入	41, 112円
特定障害者特別給付費	10, 145, 276円
合計	200, 059, 766円

11 寄附物品（敬称略）

	寄附者	寄附内容
1	石橋 啓子	米（30kg）
2	加瀬 ハルミ	米（20kg）
3	根本 富美子	米（30kg）

V 資料

別紙1 職種別職員一覧表（平成30年3月31日現在の職員数）

別紙2 組織図（平成30年3月31日現在の組織図）